

ここが私の誇れるふるさと

鶴戸小中学校 7年 根木 ひなた

「あなたは自分の住んでいる地区を良いところだと思いますか。」

そう聞かれば、私はすぐに「はい」と答えることができる。

私は、宮崎県日南市の鶴戸地区に住んでいる。私は、自分の住む地区に誇りをもっている。そう言い切れる根拠は三つある。

一つ目の根拠は、自然に恵まれているということだ。鶴戸地区には、すぐそばに美しい山や海が広がっている。また、私の通う学校では、身近な海を利用したサーフィン活動が授業で行われている。このサーフィン活動では、地域のインストラクターの方が指導にいらっしやり、その方々の指導を受けながら波に乗る。この活動は全国でも珍しいものではないだろうか。



私は、サーフィン活動を通して、自然に感謝することの大切さや鶴戸地区の良さに改めて気付くことができた。鶴戸地区の良さを生かしたこの活動はとても良いものだと思う。

二つ目の根拠は、食べ物がおいしいということだ。また、鶴戸地区には特産物が多くある。なかでも、伊勢エビは学校の運動会などでも食べられる有名な食材だ。鶴戸の食材はどれもおいしく、食べると笑顔になれる地域の味だ。こんなにおいしい食べ物があるということは、とても素晴らしいことだと思う。

三つ目の根拠は、受け継がれてきた伝統があることだ。例えば、神楽や方言だ。神楽は鶴戸地区の中でも複数に別れている。

私が伝統の中でも素晴らしいと思うのは方言だ。都会に住んでいる人からすれば、なまって恥ずかしいなどと思うかもしれない。しかし、方言は地域の人々をつなぐ素敵な言葉だと考える。何より、昔から地域に根付いていて、その言葉を使って会話をすると笑っていただけるのだ。私も実際に祖父母と話してみると、まだ知らない方言がたくさんあることに気づき、「これはどういう言葉なの？」と聞くことで、会話が広がっていった。

私は今後、地区の行事に参加するなどしていき、地区を大切にしていって、地区のことを広めたい。しかし、まだまだ鶴戸地区の知名度は低く、あまり知られていない。さらに、鶴戸地区では、少子高齢化が進んでおり、この素晴らしい伝統を受け継ぐ後継者がいないのだ。

私はひとりでも多くの人に、鶴戸地区について知って欲しい。



鶴戸地区には、恵まれた自然、おいしい食べ物、受け継がれている伝統の他にも、人々の優しさやさまざまな観光名所があるなど、良いところがたくさんある。私は、そんな鶴戸地区が大好きだ。

みなさんも、一度、鶴戸地区に来てみてはどうだろうか。